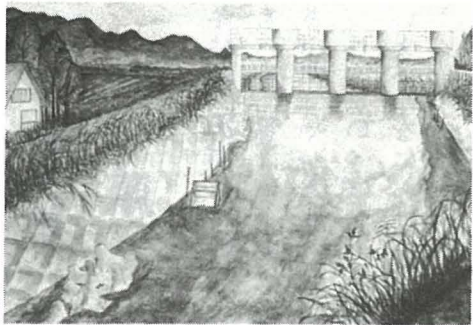
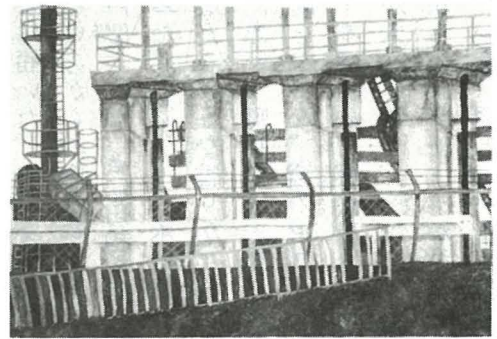


3の1 鈴木貴子さん
遠近感が出るよう工夫しました。



〔栗山川〕

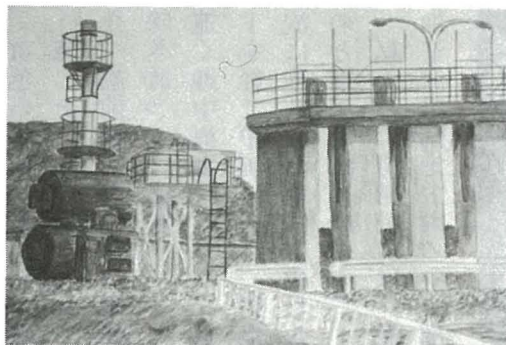


〔日ざしの中の水門〕

2の2 秀島幸江さん
水門の光の当たっている部分と、陰の部分を変化させるよう工夫しました。

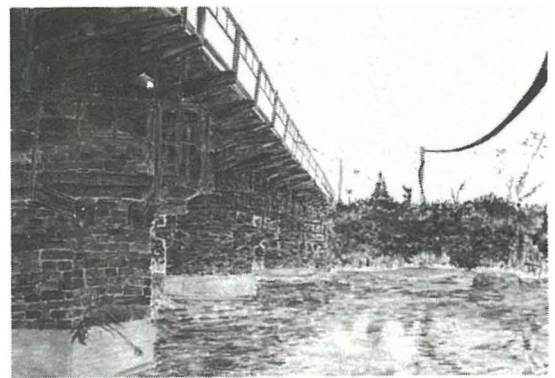


3の4 宇井孝さん
色をつくるのが、難しかった。



〔揚水場〕

2の3 村越奈津美さん
建物が細かくて、難しかった。



〔栗山川〕

ひかり俳壇

九十五才姉の張りある初笑い

鈴木 都根 (橋 場)

みくじ結ふ袂ゆらして春着の娘

布施 和代 (二 又)

人の波登押ししのぼる初詣

秋山 一泉 (野栄町)

初刷りの天皇一家穏やかに

椎名 静子 (二 又)

事無きは寝るにしくなし去年今年

大木静波子 (篠本二区)

着ぶくれて年ごと立居うとくなり

椎名 カツ (橋 場)

健康で老ゆるを願ひ屠蘇を酌む

鈴木とし子 (宝 米)

挨拶をするのみの友初電話

伊藤 幸枝 (尾垂六区)

還暦の身をいとおしみ冬至風呂

越川せつ子 (篠本三区)

冬木立まっすぐ立ちて日の中に

土屋 義昭 (虫 生)

枝塔の文字さんらんと年明くる

椎名しげる (橋 場)